

薬物乱用防止教室を続けています!

市内の小中学校において、「薬物乱用防止教室」を実施しています。昨今では、違法薬物だけでなく、市販薬を大量に服用する「オーバードーズ(過剰摂取)」が低年齢化し、小学生でも事案が報告されています。また、SNSを通じて各種犯罪に巻き込まれてしまうことも大変心配です。薬物のみならず、SNS、インターネット、有害・デマ情報の危険性をこどもたちに伝え続けています。



学校体育館へのエアコン整備、進行中!

現在、市内各学校の体育館へのエアコン工事が進んでいます。令和7年度中に、中学校30校での設置が完了します。今後、学校の授業・部活動や地区行事の際にも使用できます。災害時の避難所にもなることから、引き続き、設置を推進していきます。【写真は椿森中】



中学生から、市政への思い・要望を受け取りました!

母校・椿森中学校では、2年生の国語の授業で「14歳の主張～千葉市の未来を考えよう」をテーマに生徒ひとりひとりが市政や身近な地域のことを調べ、千葉市を良くするための考え・思いを書いてみようという取り組みが行われました。地元の先輩ということで、生徒会の皆さんから、約100名の作文集をお預かりしました。若者の意見を今後の市政に活かしてまいります。



市政へのご意見は… 携帯電話 090-3694-4173 TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします! お手紙も大歓迎です!

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp

フェイスブック、ツイッターで、日々の活動を報告しています!

亀井たくま

🔍 でご検索ください!



亀井たくま(45歳)、日々修行中です!!

1980(昭和55)年3月生まれ。中央区椿森出身・在住。

●作草部幼稚園 ●都賀小 ●椿森中 ●市立千葉高 ●早稲田大学政治経済学部 ●早稲田大学大学院公共経営研究科修了。2007年市議選で21票差で落選。2011年初当選。2023年、4期目当選(2期連続1位当選)。学生時代は吹奏楽部に所属。

地域での仕事 ●千葉市スポーツ推進委員 ●千葉市青少年相談員 ●院内小、椿森中地区各種団体役員
●椿森3丁目・5丁目地区役員 ●市第4地区(椿森中学校区・東千葉地区)町内自治会連絡協議会理事

資格 ●行政書士 ●社会福祉士 ●精神保健福祉士 ●愛玩動物飼養管理士 ●防災士
●ホームヘルパー2級 ●社会保険労務士 ●宅地建物取引士

議会での仕事 ●都市建設委員会委員 ●市議会運営委員 ●保健所運営協議会委員 ●議会機能向上委員会委員

趣味 ●明治～昭和の懐メロ。童謡・唱歌。 ●NPO東海林太郎顕彰会理事(本部・秋田市)
●好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎、三浦洸一、浜田省吾。(地域で演奏・茶話会のボランティアしています)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会



最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!

ひとりひとりを大切にする千葉市政を!

千葉市議会議員(120%市民派!無所属)

議会報告
64号

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2026年春の便り号

事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 携帯 090-3694-4173 TEL/FAX 043-255-8108

ホームページは **亀井たくま** で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.ne.jp

厳しくなる地域運営!町内自治会への支援を! 新年度予算は、物価高対策・家計支援を!

皆様、いつもありがとうございます!

日頃より、市政へのご理解とご協力に感謝を申し上げます。

12月議会においても、亀井たくまは変わらず、議会質問・委員会質問に登壇し、皆様からの声を市政に届けてまいりました。今回も内容を厳選・要約してお届けいたします。今後も地域と市政を繋ぐ架け橋として、精進してまいります。

どうぞ叱咤のほど、よろしくお願い申し上げます!



12月議会で決まったこと!



各種施策を進めるため、補正予算を可決!

新たに約78億円の補正予算が追加され、慎重審議のうえ、可決しました。

- 民間保育園の運営経費補助(19億円)
- 物価高支援として、「子育て応援手当」を支給(約30億円)
(児童1人に2万円支給。対象約14万人)

新年度(令和8年度)は、私たちの千葉市はどうなるの?

～新年度予算では、物価高対策・市民生活支援を求めています!～

長引く物価高騰・人件費高騰、少子高齢化の進展による社会保障関連経費の増加等に伴い、市の財政も引き続き、厳しい局面を迎えています。市は「持続可能な財政運営」を目指しつつ、すべての世代の未来のための施策に取り組む方針です。2～3月議会では、私たちも市民の皆様のくらし・福祉の向上に向けて、しっかり予算審議に臨んでまいります。

千葉開府900年を迎えます!

千葉開府900年の節目の年を迎えることから、市内でさまざまな記念行事やイベントが計画されています。

- 記念式典(6月1日(月))
- 記念まつり(6月6日(土))
- 記念「NHKラジオ体操」
(8月2日(日)・ZOZOマリンスタジアム)
- 記念パレード(11月21日(土))



市立幕張海浜病院が開院します!

現在の「海浜病院」に代わる新病院として、「幕張海浜病院」(美浜区若葉)が10月に開院予定です。病床数349床。これまで海浜病院が担ってきた周産期・小児医療とともに、急性心筋梗塞、脳卒中、がんといった医療体制を強化し、青葉病院とともに、市民の医療需要に応えていきます。



各種事業の詳細については、市政だより・市ホームページをご参照ください!

皆様からの声をひとつひとつ市政へ! (一般質問・委員会質問に登壇)

町内自治会の今後について①



Q 町内自治会役員の負担軽減の推進を。

A 市から町内自治会へお願いしている業務の負担軽減を図るため、事業ごとに提出を求めている町内自治会への振込口座届の統一化を図ったほか、各種申請・報告のオンライン化など、順次、見直しを進めている。

昨年度は「デジタル回覧板」のモデル事業を実施し、利便性向上を確認したところであるが、町内自治会側の費用負担やデジタル化に慣れていない方への普及に課題があることも認識できたことから、今後、地域の実情に応じた支援策を検討していく。また、多様化する地域課題の解決のため、町内自治会と民間団体(NPO法人など)との連携のための支援にも努めていく。



町内自治会役員の成り手不足が年々深刻だ。役員の負担の1つとして、市からの依頼業務が多いことが挙げられている。

これまでも回覧文書の削減、依頼業務の削減・効率化等に努めていただいているが、まだまだ簡素化・効率化できる部分はあることから、今後も負担軽減に取り組んでもらいたい。

町内自治会の今後について②



Q 加入促進の取り組みを。 (加入者・町内会役員への特典・メリット付与を)

A 本市への転入者などに対して、町内自治会の役割・活動を掲載したチラシを配布しているほか、宅地建物取引業協会・宅地開発業者と連携して、加入の呼びかけを行っている。町内自治会に加入している市民や町内自治会役員へのインセンティブ付与については、現在のところ行っていないが、長年活動いただいた役員に対しては、感謝状の贈呈など、市として表彰等を行っている。

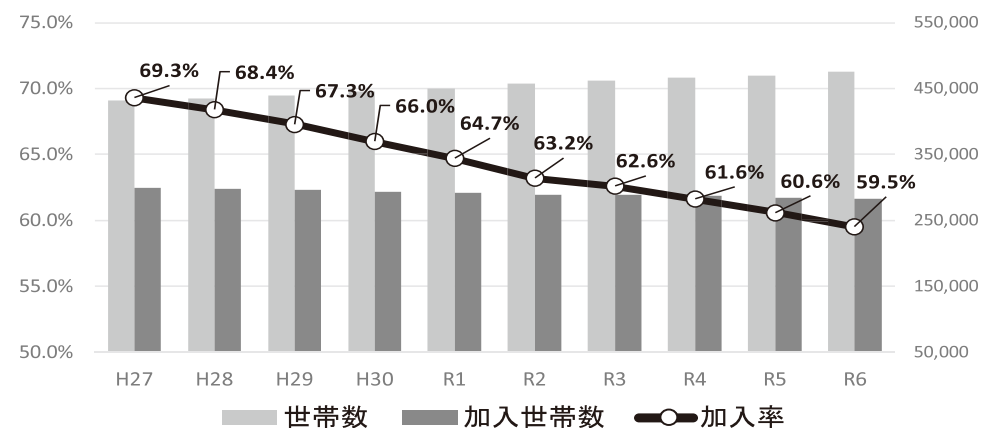


町内自治会加入率は年々低下する一方で、地域のさまざまな課題は増加し、役員の負担もますます厳しくなっている現状がある。このままでは、町内自治会や地域コミュニティは崩壊してしまう。

町内自治会に入っている住民や、役員を引き受けている方々に対して、インセンティブ(なにか特典や割引のようなメリットが受けられるような仕組み・制度)の導入を。本腰の対策が急務だ。

町内自治会加入率の推移(市全体)

(世帯数)



町内自治会加入率(区別)

美浜区	67.3%
花見川区	66.0%
稲毛区	63.1%
若葉区	56.2%
中央区	54.0%
緑区	50.4%

千葉公園の再整備について



Q 公園内の樹木伐採の状況は。 木を伐らないでという市民の声を大切に。

A 令和3年度以降、公園再整備等に支障となる樹木、腐食が進んだ樹木など、約400本を伐採する一方、これまで新たに約280本を植栽してきた。引き続き、120本程度の植栽を行い、再整備前と同程度の樹木数は確保する。

また、現在工事中の「やすらぎゾーン」において、「ケヤキ並木を残してほしい」という住民・利用者意見が寄せられたことから、話し合いを経て、一部樹木の伐採見直しを行った。

今後も樹木の伐採やリニューアル工事については、住民説明会等の周知を通じて、地域のご理解をいただけるよう工夫してまいります。



「千葉公園の貴重な緑を残してほしい」という市民の声を大切にしてもらいたい。

市民要望を踏まえて、工事箇所の伐採本数を減らしたことは評価する。伐採数とほぼ同数の植栽を行っていくことは理解するが、引き続き、工事等にあたっては、事前に丁寧な周知・説明を行い、市民や公園利用者と共通理解を進めてもらいたい。



動物愛護の推進について①



Q 地域猫活動のさらなる理解促進を。

A 「動物愛護フェスティバル」「地域猫セミナー」の開催、中学生への啓発リーフレットの配布、市政だより等による周知・啓発を実施するとともに、「野良猫の不妊去勢手術事業」については、町内自治会等との連携に向けた制度を新設するなど、地域で取り組みやすい環境づくりを進めている。

動物が苦手な方も含めて、「地域猫」の正しい理解が広がるよう、施策推進に取り組む。



市内では、不幸にも野良猫が次から次へと産まれては亡くなってしまっている地域もあり、私のもとにも日々相談が寄せられている。

早期に不妊去勢手術へと繋げることで、繁殖を抑制し、不幸な命を減らしていき、人にも猫にも安心な地域を作っていくことが大切だ。「野良猫ゼロ」を目指して、取り組みを進めてもらいたい。

バリアフリー推進について



Q 市内の駅のバリアフリー化の推進を。

A 市内の鉄道駅のホームドアの整備については、「利用者数が10万人以上の駅を優先的に整備を促進する」という国の基本方針等に基づき、JR東日本と連携して整備を進めており、令和7年3月に千葉駅(1・2番線)、6月に稲毛駅でホームドアを設置している。このほか、海浜幕張駅、新検見川駅、幕張駅、西千葉駅で設置する方向である。

また、京成線新千葉駅、大森台駅では、エレベーター、多機能トイレ、スロープを設置し、これによって、市内のすべての駅で「段差解消」が達成されることとなる。今後もバリアフリーを進めていく。



視覚障がいのある方々がホームから転落し亡くなるという痛ましい事故が続く、全国でホームドア設置等の安全対策が進められているが、ホームドアがあることは、誰にとっても安心・安全であることから、JRと連携して、早期設置をお願いしたい。京成線でもバリアフリーが進み、多くの方々の安心に繋がっている。引き続きの推進を。

動物愛護の推進について②



Q 動物愛護・動物福祉のさらなる推進を。

A 令和7年2月に「千葉市動物愛護基金」を創設し、市民から寄せられた寄附金は、収容された犬や猫の新たな飼い主への譲渡、収容された負傷動物の治療、市動物保護指導センターの設備・機器等の更新・充実に活用し、施策の拡充を図っている。市内では、猫の多頭飼育崩壊事件も複数発生していることから、あんしんケアセンターや福祉部門との連携強化を図り、多頭飼育崩壊防止に努める。

新たに整備する「(仮称)千葉市動物愛護センター」(若葉区高品町に建設予定)については、新年度に実施設計を行い、着実に整備を進めていく。



市内の野良犬・野良猫の収容数、苦情件数は、着実に減少傾向にあるが、昨今では、高齢者等による多頭飼育崩壊事案などの新たな課題も起きており、リスクのある飼い主・地域の早期発見・早期支援が重要だ。

市民からの動物愛護への寄付も年々増加(令和6年度約4000万円)していることから、市民の思いを受け止め、動物愛護施策の充実を図ってもらいたい。

公園の快適化について

Q 公園トイレの快適化、洋便器化の推進を。

A 男女問わず使用できるように、1公園1基以上の便器の洋式化を進めている。現在計画している211公園のうち、192公園(91%)で完了しており、残る19公園については、今年度(7年度)で完了する見通しである。

今後も洋便器化を進めるとともに、老朽化しているトイレの建て替え(年2棟)・改修(年3棟)も計画的に進めていく。



身近な公園にトイレが設置されていることで、「困ったときに助かった」という市民の声をいただくが、一方で「汚れていて使いづらい」「女性は入りづらい」との意見も耳にしている。

誰もが使いやすく快適に利用できるよう、引き続き、トイレの改善の取り組みを進めてもらいたい。

たくさんの声、いただきました!

～改善を求めて取り組んでいます～

前回ニュース63号配布以降も、さまざまなご意見を賜りました。ひとつひとつ改善・反映できるように努力してまいります。

ご意見をありがとうございました。(ほんの一部をご紹介します)

- 物価高対策、市民生活の支援策を(多数)
- マリスタジウムはどうなる?(多数)
- 災害時の避難所の備蓄・体制強化を(道場北)
- 市民会館の着実な整備を(新千葉)



【カーブミラー、新しくしてもらいました! (東千葉・日下医院前)】